

清明学園同窓会 トンボ通信

第4号



令和2年11月発行
発行
清明学園 同窓会
〒145-0066
大田区南雪谷三丁目
12-26
学校法人 清明学園内

同窓会
QRコード
メールアドレス
登録用
seimei.dousukai@gmail.com



メールアドレスの登録に
ご協力ください

ホームページ
http://www.seimei-dousukai.com



学園の今・・・ 同窓会名誉会長 浅野輝一

会員の皆様、新型コロナウイルスによる規制の中、如何お過ごしでしょうか。

清明学園では、感染防止のため、3月から5月31日まで休園、休校致しました。この間、コミュニケーションのとり方、学習の進め方など大変苦慮してまいりました。オンラインを導入すれば、この課題が解決できるのではと、全教員が一丸となり動き始めた時のことでした。

同窓会の会長さんをはじめ理事の方々、そして後援会の会長さんからも、「何かお困りのことがあれば、お手伝いをしますよ。」と思ってもおかない、ありがたいお言葉を頂きました。皆様方のお力添えを頂き、オンラインを活用し、園児、児童、生徒と学園を結び、絆が、一気に強まりました。未だに、学習に生活指導にと大きな力を発揮してくれています。

同窓会、後援会の皆様方からの多大なるご援助に、この紙面をお借りして全教職員ともども厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。また、今年度、延期を余儀なくされました学園創立90周年の記念行事ですが、来年度こそは、実行できますことを強く願っております。

ブラック・スワンが踊りました 同窓会会長 藤井 俊一

1997年11月に五反田うぼうとで同窓会が開催されました。

その後2017年11月に濱野富美子先生の強いお考えの下、23年ぶりに再構築された新生同窓会主催で「第1回トンボ会」を清明学園講堂で開催し165名のトンボっ子が一堂に会しました。

第2回トンボ会は2021年1月開催予定で準備を進めてまいりました。しかし、突然予期しないブラック・スワン(黒い白鳥)が現れ、有り得ないことが起き、世界規模で非常に強い衝撃をパンデミックという型で今も進行形です。

社会に対する影響は甚大で、「衣食住」環境も毎日のように大幅に変わりつつあります。第2回トンボ会も2022年に延期せざるを得ません。しかし、何が起きてても変わらないもの、それは創立者濱野重郎先生の教育理念「子供と共に生き、子供を生かし、子供を通して生きる」に根ざし子供一人ひとりの良さを見つけ「主役は子供」のDNAです。

当同窓会は「大切な事・時期を後回しに出来るほど、人生は長くない」と考え、ご協力させて頂くことは出来るだけ早急に行うことに致しました。

そして、遠隔授業(ZOOM)等の補助とし、IT設備中心に4月より90周年記念事業基金の一部、約2百万円を寄贈させて頂きました。

当新生同窓会は「清明学園 is forever・清明学園は永遠なり」のもとに、より良い未来へ繋がるよう活動しております。

「強い母校愛、社会での活躍、同窓の仲間との強い絆」を持つトンボっ子の素晴らしさが、特に清明学園の評価を高めていると信じております。

新しい学校のスタイルで
初等学校校長 横山 豊治

新型コロナウイルス感染症防止のため、3月から5月31日まで休校となりました。そのため、今年度の入学式は、6月1日に例年と形式を変え、全員マスク着用で短時間で会場人数も限定して行われました。6月から新学年になりましたが、5月には何度かオンライン学習が行われていたため、担任の教師や同じクラスのお友達とはオンライン上で話している、心配された混乱も少なく新学期を始めることができました。

オンライン学習は、休校中も6月以降の分散登校中も継続して行われ、今後もタブレットを活用した学習は、コロナ禍に関係なく進めていく計画です。同窓会より多大なご協力のお話をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は日本だけでなく世界中の学校が、新しい学校生活のスタイルで教育を進めています。子どもたちの安全が第一ですが、今後も教育現場では、最大限の工夫をして前に進んでいきます。

今年度の卒業式は、直前にコロナのための休校となった中、卒業生と保護者だけの挙行となりました。ご来賓も在校生もいない式でしたが、



中等部から 中学校校長 鈴木敏弘

今年度の卒業式は、直前にコロナのための休校となった中、卒業生と保護者だけの挙行となりました。ご来賓も在校生もいない式でしたが、

67回卒業生は、堂々と学園を巣立っていきました。

そして残念ながら今年度も4月・5月と休校となり、子どもたちの学習機会の確保に苦慮してまいりました。その折、同窓会、後援会からの速やかで多大なるご支援をいただき、どうにかオンラインによる学習活動や授業解説動画配信、9年生には一対一の受験のための個人指導、そして保護者会や面談等を進めることが出来ました。教職員一同、心から感謝しております。

今、ようやく平常に近い学校生活となりましたが、2学期までの大切な行事のほとんどが、中止や延期となってしまいました。今後は出来ることを模索しながら、子どもたちと共に、コロナ禍を全力で乗り越えていく所存です。

今年の春を境に、私たちの生活は大きく変わりました。桜の花に見守られ行われていた入園式は、2カ月遅れとなり、分散・時差登園がスタートしました。同時にオンラインでの保育を始めましたが、再開当初は、その新しい生活に戸惑いを感じていました。子ども達の表情にも緊張が見られましたが、1週間もすると、幼稚園に元気な声が響き渡り、笑顔が戻ってきました。

新たな出発に向けて
幼稚園園長 濱野道子

《次ページへ続く》